

登録コード	SGQ21900	開講年度	2026					
授業題目	教育実習事前・事後指導					担当教員	田村 徳至	
英文授業名	Before and After Guidance of Practice Teaching					副担当		
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	4年生	
講義室	人文第4講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		
備考								
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	4年次で教育実習を受けるにあたっての事前指導として、教材開発、子ども理解、指導案の作成、模擬授業、授業参観や授業分析の在り方について学び、実習後に自己の実習を振り返り、課題と達成できた内容を総括して、今後の教師としてのキャリアアップの視点を見出す。 今年度も人文学部と理学部と一緒にを行う。							
(5)授業のキーワード	教育実習 学習指導案							
(6)授業計画	集中講義の形式で授業を実施する。 事前指導 1. 教育実習オリエンテーション（1回目：4月15日水曜日1限） 2. 授業参観・授業分析（2回目：4月22日水曜日1限） 3. 学習指導案作成（3回目：4月30日木曜日1限） 4. 学習指導検討（4回目：5月13日水曜日1限） 5. 板書計画等 6. 模擬授業 7. 模擬授業の分析 事後指導 8. 教育実習の反省会と【後期】教職実践演習に向けての課題の明確化 * 9月の授業参観のグループ分け 他 * 日程は決定次第eAlpsを通して連絡する。 授業の最後にアンケートを実施する 15分間							
(7)成績評価の方法	事前での学習への取り組みと、教育実習の振り返りの内容等により、総合的に評価する。							
(8)成績評価の基準	【卓越している】実習先の生徒の気質・学校の雰囲気等を理解しており、教材研究を十二分に行い、自身の課題を明確にし、教師としての自覚を持ち教育実習に臨もうとしている。教育実習時の自身の成果と課題を十二分に把握している。 【かなり上にある】教材研究を行い、自身の課題を明確にし、教師としての自覚を持ち教育実習に臨もうとしている。教育実習時の自身の成果と課題を把握している。 【やや上にある】教材研究を行い、自身の課題を明確にし、教育実習に臨もうとしている。教育実習時の自身の成果と課題を把握している。 【水準にある】教材研究を行い、自身の課題を明確にし、教師としての自覚を持ち教育実習に臨もうとしている。教育実習時の自身の課題を把握している。							
(9)事前事後学習の内容	生徒が興味関心を持って学習に参加したくなる教材を開発する。 役者としての教師の役割や実験観察の指南役としての役割などが、模擬授業の中できちんと展開できるよう具体的に練習する。							
(10)履修上の注意	・教員採用試験に挑戦することを前提に授業を行う。 ・4月上旬の「教育実習4年次ガイダンス」時に教育実習に向けての流れを説明するので、本授業履修希望者は必ず同ガイダンスに出席すること。							
(11)質問、相談への対応	・質問・相談はなるべく授業中に行うこと。 ・授業以外の時間帯での質問・相談は、随時、受け付ける。 教職相談室（松本）：kyousho@shinshu-u.ac.jp 田村：tamura@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	藤井善章／小山茂喜 編著『教育実習・介護等体験 安心ハンドブック』,学事出版,2026,2,200円 ・旧版のものでも可							
【参考書】	中学校学習指導要領 「総則編」と「自分の専門教科のもの」 高等学校学習指導要領 「総則編」と「自分の専門教科のもの」 中学校学習指導要領解説 「総則編」と「自分の専門教科のもの」 高等学校学習指導要領解説 「総則編」と「自分の専門教科のもの」 実習校で使用する教科書							